

2008年10月21日開催 第532回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
黒田勇委員 岸本卓也委員 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

山本会長 河内社長 田中専務 上田専務 山西常務 松島常務
西岡ラジオ局長 三村制作局長 東編成局長 熊報道局長
木田コンプライアンス室長

◆ 「全国ネット番組」について

第532回番組審議会は10月21日に開かれ、JNN系列の全国ネットテレビ番組について意見交換しました。

委員の主な意見は次の通り

- * 報道での、「わかりやすさ」に潜む危険性について、すべてのマスコミが検証しなければならないが、放送は、時間と映像の制約から、わかりやすさ、端的な表現を必要としているので、この「わかりやすさ」の危険性に注意しなければならない。
- * 「THE世界遺産」は映像が美しく、臨場感があるので大好き。しかし放送時間帯が日曜日の6時になったので、なかなかそのときには見られなくなった。迫力ある映像をじっくり見たいので、できたら夜に再放送があるとうれしい。
- * 「朝ズバッ！」は、みのもんたの個性もあるが、アナログ的なところがすごくいい。それはTBSの番組全体を通して感じる。
- * 新聞を2畳の大きさに広げてどんとやる「ピンポン！」の「二畳新聞」は、「情報ロンドンダリング」、要するに「マネー洗浄」ならぬ「情報洗浄」みたいなこと。他社が取材したことだと、自分のところにかぶってこないだろうということもあって、無責任に表現している。
- * 「はなまるマーケット」は、あえて見ようというのではなく、他局に比べて生活感があるので、気がついたら見てしまっている。
- * 「情報 7days ニュースキャスター」に、北野たけしがフリージャーナリストという立ち位置で出ているが、鋭い視点で何かに切り込むというよりは、思いつく言葉をそのまま口に出して、おもしろおかしく、好き勝手にコメントしているイメージがする。

*新番組「流星の絆」には、今の若者をしっかり見つめたドラマになってほしいという期待を持っている。

◆「VOICE」の「旧南淡町監査請求報道名誉棄損訴訟」判決について

平成17年9月に放送した「VOICE」の企画ニュース「前町長ファミリー企業 談合疑惑で住民監査請求」の報道をめぐる、元町長から名誉棄損にあたるとして、監査請求した住民2人とともに、損害賠償を求められていた裁判で、神戸地裁は9月26日、住民2人については違法性がないものの、当社に対しては「名誉棄損が成立する」として100万円の支払いを命じる判決を言い渡しました。当社は住民らが談合の疑いがあるとして監査請求を行った事実を伝えただけで、疑惑そのものを取材し伝えたものではなく、こうした判決が確定すれば、今後、監査請求や一般の提訴をめぐる報道において、監査請求や提訴の根拠となる疑惑そのものの真実性、真実相当性が担保されなければ報道できないことになり、報道の社会的使命を果たすうえで大きな支障がでると考え控訴しました。

◆「VOICE」の「喫茶店廃業報道訴訟」判決について

平成17年5月に放送したテレビ報道番組「VOICE」の企画ニュース「憤懣本舗：嫌がらせの『屋台』・無神経な『市役所』」をめぐる損害賠償請求訴訟で、大阪高裁は9月19日、名誉毀損は成立しないとする一方、取材方法に一部問題があった（違法性が認められる）、として当社に10万円の支払いを命じる判決を言い渡しました。名誉毀損にあたらないとされた点は、一審の神戸地裁判決に比べて、極めて大きな前進だったが、取材の違法性が認定されると、今後の犯罪報道、調査報道に与える影響は甚大と考え上告しました。

番組審議会では上記ふたつの判決についてコンプライアンス室長と報道局長が報告しました。

◆平成20年日本民間放送連盟賞テレビ番組部門の教養番組部門で、毎日放送の「映像'08家族の再生～ある児童養護施設の試み～」が最優秀賞を受賞したことなどについて番組審議会事務局長が報告しました。